

厚生労働科学研究費補助金（難治性疾患政策研究事業）  
分担研究報告書

中性脂肪蓄積心筋血管症の診療体制の構築に関する研究

研究分担者 東 将浩 独立行政法人国立病院機構大阪医療センター 職員研修部 部長

研究要旨

中性脂肪蓄積心筋血管症（TGCV）の診断基準作成に関わった。びまん性冠動脈硬化は大基準の一つであり、冠動脈造影や冠動脈 CT がその判定に用いられる。ワークステーションにより、CT での冠動脈壁を評価した。本法による壁性状評価は、TGCV 群と正常群で異なり、TGCV の診断に貢献する可能性がある。

A. 研究目的

中性脂肪蓄積心筋血管症（TGCV）の冠動脈壁を、CT で評価する。

B. 研究方法

市販のワークステーションを用い、冠動脈の壁性状を、CT 値を指標として評価し、TGCV 群と正常冠動脈群で比較した。

（倫理面への配慮）

当施設の倫理委員会の承認を得て研究を行った。対象患者についてはオプトアウトを実施した。

C. 研究結果

TGCV 群は低濃度壁の割合が高く、内腔の割合が低い傾向にあった。

D. 考察

ワークステーションによる壁性状評価による TGCV 診断の可能性が示唆されたが、今回の検討は少数例であり、症例数を増やした検討が望まれる。

E. 結論

本法を用いた冠動脈壁評価は、TGCV の診断に貢献する可能性がある。

F. 健康危険情報

該当せず

G. 研究発表

1. 論文発表

なし

2. 学会発表

なし

H. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし